

・(5-1) スポーツ振興課所管事業

1. スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関する事務事業
2. 保健体育施設管理事業
3. ニュースポーツ普及事業
4. 広報活動
5. 体育施設開放事業
6. 指導者研修会・養成講習会
7. スポーツ団体育成事業
8. 生涯スポーツ活動推進事業

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4501	事務又は事業の名称	スポーツ推進審議会及びスポーツ推進員に関する事務事業			所管	部	教育文化部	
						課		スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第31条、野々市市スポーツ推進審議会に関する条例、スポーツ基本法第32条、野々市市スポーツ推進委員に関する規則						
事業の対象(誰が・誰に)	市がスポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員に		事業の目的	審議会委員の提言や助言をスポーツ推進委員の協力のもとに、スポーツ事業の推進と普及を図る。					
事業の内容	スポーツ推進審議会の開催。 スポーツ事業の推進を図るため、スポーツ推進委員の委嘱を行う。 スポーツ事業推進のための事務補助員の雇用		平成24年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会委員の委嘱及び審議会の開催 ・スポーツ推進委員の委嘱 ・各種団体への負担金 ・団体事務を行うための事務補助員の雇用 					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	1,626	636	3,898				
		事業費計 (A) (千円)	1,626	636	3,898				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	↘	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・団体事務の移行の完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	スポーツ推進審議会のご意見等を、スポーツ事業の推進に活かすよう努める。スポーツ推進委員には、積極的に研修会等に参加いただき、他の市町での先進的事例、取り組みなどを研修いただき、本市における生涯スポーツ事業の推進に努める。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員の積極的な意見に基づき、事業の改善に努める。 ・各種スポーツ事業において、積極的に指導及び連絡調整に活動していただく。 		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4502	事務又は事業の名称	保健体育施設管理事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ハード・ソフト事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条						
	事業の対象(誰が・誰に)	市が一般市民に		事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。					
事業の内容	・公共施設管理事業団への委託及び補助事業。 ・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成24年度活動実績	・市民体育館及び武道館の耐震診断補強計画 ・公共施設管理事業団管理委託及び補助金 ・市民体育館、スポーツセンター駐車場土地借入 ・スポーツランド券売情報管理システム更新業務 ・健康広場等改良工事等6件 ・トランポリンベット等備品購入						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	施設の利用人数		人	350,000	257,898	285,430	300,000		
事業のコスト	事業内訳	区分		H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)			1,506					
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)	6,400							
		その他 (千円)	14,606		15,016		14,500			
		一般財源 (千円)	121,731		147,281		118,948			
		事業費計 (A) (千円)	142,737		163,803		133,448			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	公共施設管理事業団委託・補助事業 市民体育館耐震補強実施設計	公共施設管理事業団委託・補助事業 市民体育館耐震補強工事	公共施設管理事業団委託・補助事業 社会体育施設の計画的整備	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	体育施設を安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る。 社会体育施設の安全に利用を行うための、整備計画に沿って計画的に整備を行う。
	C	A			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	施設の管理委託を引き続き公共施設管理事業団に委託し、利用者の快適な利用に配慮し、施設の適正で安全な維持管理に努めるために、年次的な整備計画のもと、計画的な改修を進める。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4503	事務又は事業の名称	ニュースポーツ普及事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	事業の開始・終了年度					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市教育委員会が市内在住もしくは市内勤務・通学の中学生以上の人に		事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。						
事業の内容	市スポーツ推進委員が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4～5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。		平成24年度 活動実績	平成25年3月17日(日)に第4回野々市市トリプルソフトバレー大会を開催した。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	トリプルソフトバレー大会	人	160	116	121	130			
事業のコスト	事業内 費	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	97		65		70			
事業費計 (A) (千円)	97		65		70					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	トリプルソフトバレーの新たな大会開催の形態を模索する。 トリプルソフトバレーに変わる新たな種目について検討する。	新たな種目の普及に努める。	新たな種目で大会を開催する。	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	現在推進しているトリプルソフトバレーは、第4回目の大会であり、地区公民館事業でも取り入れられる中、徐々に市民へ浸透してきていると思われる。アンケートでは、トリプルソフトバレーを含むニュースポーツ体験会に参加したいという方が多かったが、そのニュースポーツ体験会の存在を知らないという方も多くいることが分かったので、もっと周知方法を工夫して参加していただけるようにしていきたい。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	アンケートに「ルール・反則判定方法の徹底」を求める声があったため、一部ルールを変更し、日々の体験会でルールについて周知するとともに、大会当日は主審・副審にスポーツ推進委員必ず配置した。その結果、試合がスムーズに進行し、アンケートにもルール・判定に対する不満は見られなくなった。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4504	事務又は事業の名称	広報活動			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし						
	事業の対象 (誰が・誰に)	市が一般市民に		事業の目的	市民に対し認定クラブ及び体育協会加盟団体、スポーツ少年団の紹介、体育施設の利用料金の案内等。					
事業の内容	「スポーツガイドののいち」の発行。		平成24年度 活動実績	「スポーツガイドののいち」の作成。						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	スポーツガイドののいちの作成打合せ		回	3	3	3	0		
		スポーツガイドののいちの作成数		部	1,000	1,000	1,000	0		
事業のコスト	区分		H23		H24		H25予算			
	事業内訳	国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	60	60	60	0	0	0	
	事業費計	(A) (千円)	60	60	60	0	0	0		

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成25年度より、生涯スポーツ活動推進事業の中で「スポーツガイドののいち」の発行を行う。
	C	F			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		「スポーツガイドののいち」、「ホームページ」などを活用し、を多くの市民の方にスポーツに親しんでいただけるように工夫を行う。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4505	事務又は事業の名称	体育施設開放事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第13条第1項 野々市市立学校の施設の開放に関する規則						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市認定クラブ会員及び市スポーツ少年団、 市体育協会加盟団体		事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し 市民のスポーツ活動の振興を図る。					
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学 校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催 し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館 6、運動場6)の開放を行っている。		平成24年度 活動実績	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会 公共施設管理事業団への管理委託						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	学校体育施設利用者		人	88,000	79,847	80,334	80,500		
		学校開放件数		件	3,000	2,933	2,799	3,000		
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		H23		H24		H25予算		
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	391		1,008		1,092		
事業費計	(A) (千円)	391		1,008		1,092				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ 会 公共施設管理事業団への管理委 託	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ 会 公共施設管理事業団への管理委 託	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ 会 公共施設管理事業団への管理委 託

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	多くの市民が利用しており、学校活動に支障のない範囲において、適切に施設開放が 運用されている。今後も適切に施設が運用されるよう努めたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民の利用ニーズが高まってきているため、現在の利用状況を適格に把握し、施設の利用推進に引き続き務めてい く。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4506	事務又は事業の名称	指導者研修会・養成講習会			所管	部	教育文化部
						課		スポーツ振興課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第11条 スポーツ基本法第14条				
	事業の対象(誰が・誰に)	市が市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、一般市民に		事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。			
	事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成24年度活動実績	・全国スポーツ推進委員研究協議会・北陸地区スポーツ推進委員研修会・石川県スポーツ推進委員研修会への派遣 ・市スポーツ推進委員研修会の実施 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数	人	70	50	49	55	
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数	人	60	45	53	56	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	544	580	416			
事業費計 (A) (千円)	544	580	416					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	スポーツ活動を安全・快適に行う上で必要な知識をスポーツ関係者に身に付けていただくために講習会を実施し、スポーツ関係団体や市民の受講を促している。また、スポーツ推進委員の資質向上のために各種研修会に派遣するとともに、自主研修を行い、市民を対象とした行事等に活かしていく。
	B	B		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		研修会、講演会に参加される方々の意見を取り入れながら、内容の検討を行った。	

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4507	事務又は事業の名称	スポーツ団体育成事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進								
	行政改革 推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第22条、第34条						
事業の対象 (誰が・誰に)	市が一般市民および体育協会並びにスポーツ少年団等に		事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種国際大会等に参加選手への激励費の支給 小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会への委託事業 体育協会、スポーツ少年団等への補助金の支給等 		平成24年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等へ参加選手の激励費支給。 小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、マラソン大会、県体選手派遣等各実行委員会委託事業。 体育協会、スポーツ少年団、競技強化委員会、ふるさと駅伝等補助金交付。 						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	野々市じょんからの里マラソン大会の参加者		人	1,600	1,347	1,457	1,550		
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	14,700	17,813		15,167				
		事業費計 (A) (千円)	14,700	17,813		15,167				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	↗	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。 各団体の補助(団体事務局の事務所などについて協議を行う。) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。 各団体の補助事業(団体事務局の独立。) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。 各団体の補助 	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	国際大会、国体等の大会に出場する選手に激励費を支給。各大会の委託料についてはそれぞれの実行委員会に置いて、事業内容の精査見直し等を行いながら、適切に運営に努める。体育協会、スポーツ少年団の事務局の自主運営に向けての移行を着実に進める。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会の実行委員会への補助については、多くの市民の方にスポーツに親しんでいただけるよう実行委員会と共に工夫を行う。 体育協会、スポーツ少年団の事務を自主運営するための移行期間と捉えて作業を進める。 		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4508	事務又は事業の名称	生涯スポーツ活動推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条						
	事業の対象(誰が・誰に)	市が一般市民に		事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビック教室の開催。 ・高齢者健康クラブの活動補助。 ・体力・運動能力調査の実施。 ・ニュースポーツ体験会の実施 等。 		平成24年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・一般・青少年少女・中高齢者対象の春、秋のスポーツ教室 各期6回コースの開催。 ・高齢者健康クラブ活動補助 ・体力テスト(一般・高齢者) ・エアロビック教室(春、秋、冬 各期6回コース) ・ニュースポーツ体験会 					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	高齢者スポーツ活動参加者数		人	1,500	1,147	910	1,000		
事業のコスト	事業内訳	区分		H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	510	375	542					
事業費計 (A) (千円)	510	375	542							

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	公共施設管理事業団に、スポーツ教室開催の委託。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	公共施設管理事業団に、スポーツ教室開催の委託。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	公共施設管理事業団に、スポーツ教室開催の委託。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	公共施設管理事業団に、スポーツ教室開催の委託。高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	市で実施していたスポーツ教室の一部を、引き続き公共施設管理事業団を運営主体とし委託事業とする。また、エアロビック普及事業については、市エアロビック連盟が主体的に企画・運営を行っていただけるよう協議する。
	D	D		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	各スポーツ教室の委託に向け調整を行う。公共施設管理事業団へ各種スポーツ教室の実施運営を委託する。		

・(5-2) 学識経験者からの意見

スポーツ推進委員については、これまでの実技指導に加えて地域の人々と行政や団体とをつなぐコーディネータとしての役割が増々大きくなってきます。ところで現在の委員の定数は20名であり、委員1名に係る事業参画の負担が大きくなっています。公民館単位等で1名の増員を図れば、生涯スポーツの振興と普及に大きく寄与すると思うので、ぜひ検討していただきたいと思います。

「野々市じょんからの里マラソン大会」のほか、「さわやかスポーツフェスティバル」など各種大会、スポーツイベントなどを通して観光としての視点から野々市をアピールして、市全体の振興を図っていただきたいと思います。

「野々市じょんからの里マラソン大会」が開催されているにもかかわらず、陸上競技がそれほど振興していないように思われます。競技の育成強化を図るため、優秀な指導者を招き、指導者の強化育成を図っていただきたいと思います。

県民体育大会の競技種目の中で出場が果たされていない種目が幾つかあります。少しでも多く参加種目が増えるよう、指導者の育成を図っていただきたいと思います。

指導者の登録を幅広く広報等で市民に求める方策を立てて指導者の確保を図るべきだと思います。

市でおこなっていたスポーツ教室が公共施設管理事業団の事業となるようですが、民間手法を取り入れるなど今まで以上に市民のニーズを反映できるような柔軟な運営を期待します。

スポーツの振興として、ソフト面での充実が図られているようですが、スポーツ施設が不足していると思います。施設整備実施計画により、市民へ実施時期を公表できないでしょうか。

さわやかスポーツフェスティバルは、市民が安全で楽しくスポーツを親しむことができる催しです。体育協会、スポーツ少年団やスポーツ推進委員などの連携により、より多くの市民が参加できるような工夫が必要だと思います。

・(5-3) 今後の方針

①生涯スポーツの推進

スポーツの推進を図るうえで、幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツの振興に努めます。

②競技スポーツの充実

石川県民体育大会上位入賞を目指すため、優秀な選手の発掘や競技力向上のためにも指導者の発掘、育成に努めます。

③スポーツ団体の自主運営への取り組み

体育協会、スポーツ少年団の自主運営に向けた取り組みを推進します。

④スポーツ施設の充実

既存施設の計画的な改修、整備を図ります。

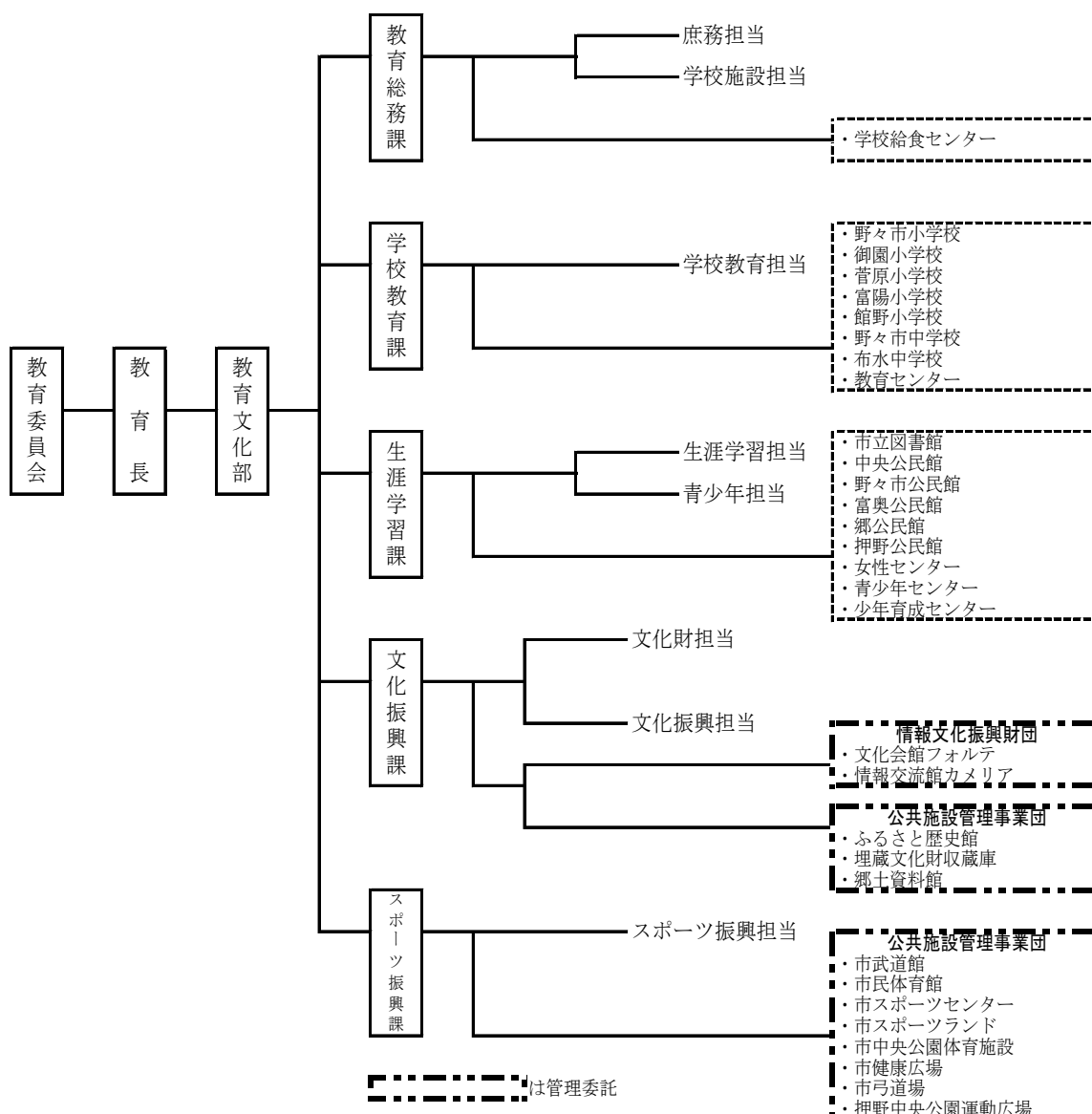
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成 25 年 3 月 31 日現在）

<教育委員会>

委員長	北本 正	委員長職務代理者	徳田 寿秋
委員	荻野 直子	委員	中野 恵美子
委員	松野 勝夫	委員（教育長）	堂坂 雅光

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

E メール： kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp